

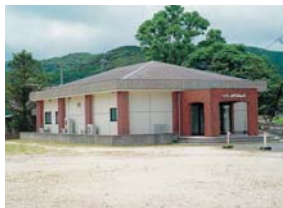
医療法人 山内診療所



宮崎 昭行 診療所長



山内診療所



川原診療所



農園「てるてるぼうず」



農耕馬のリリー



農耕牛のモエ

診療所長	<p>宮崎 昭行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和28年大阪生れ ・平成11年呼吸器（内科系）認定医 ・昭和54年長崎大学を卒業し、熱研内科に入局 ・平成16年呼吸器専門医及び内科認定医取得
住所・連絡先	<p>1) 山内診療所 〒853 0312 長崎県五島市岐宿町中嶽1073 1 TEL: 0959-83-1013 FAX: 0959-83-1015</p> <p>2) 川原診療所 〒853 0702 長崎県五島市岐宿町川原577 1 TEL: 0959-82-0830</p> <p style="text-align: right;">* 山内診療所、川原診療所のいずれも不在の場合は携帯電話に転送されます。</p>

1 概要

当診療所は福江島のほぼ中心に位置し、山内の名前が示すように周囲を山に囲まれた盆地状の地形内にある。五島と言えば漁業の印象が強いが、当地では農業と林業が主な産業であり、特に米は長崎県でも有数の産地となっている。

地域住民の人柄は一般的に接しやすい和やかな方が多く、住みやすい土地柄である。現在でも自給自足の生活習慣が多少残っており、長崎県唯一の桶屋が残っているのもこの土地ならではの光景である。

当診療所は地域の小児から老人までの多彩な疾患の初期診療及び慢性疾患の治療、そして通院不可能な老人に対する在宅治療と終末期在宅医療に取り組み、聖マリア病院と連携して在宅支援診療所として診療活動を行っています。また月、水、金の午後は川原診療所に出張して川原の人々の診療を行っています。福江島は五島中央病院が基幹病院としてあり、当院は常に五島中央病院と連携して患者さんの治療にあたっている。

私が五島に住んだ主な理由が、エネルギー、環境問題に取り組むためであり、伝統的技術の継承に力

を入れている。そしてさらに、地球の環境保全と地域住民との触れ合いを目指して林業、農業なども手がけている。

2 設 備

電子スコープ(GIF)、Echo(カラー、ドップラー)、ECG、Holter ECG、血圧脈波検査装置(PWV/ABI)、一般撮影レントゲン、遠隔透視テレビX線装置、血球計数器、眼底カメラ、血液ガス分析装置、肺活量計、直腸鏡、インフルエンザウイルス抗原キット、A群溶連菌検査キット、CRP、血糖測定器、好酸球染色、グラム染色、尿沈査染色、真菌検査、温熱治療、電気治療

3 週間スケジュール

曜 日	午 前		午 後	
	時 間	診 療 内 容	時 間	診 療 内 容
月	8 : 00 ~ 12 : 00	外 来	13 : 30 ~ 16 : 00	川原出張診療、在宅往診
			16 : 30 ~ 18 : 00	外 来
火	8 : 00 ~ 12 : 00	外 来	13 : 30 ~ 16 : 00	在宅往診
			16 : 30 ~ 18 : 00	外 来
水	8 : 00 ~ 12 : 00	外 来	13 : 30 ~ 16 : 00	川原出張診療、在宅往診
			16 : 30 ~ 18 : 00	外 来
木	8 : 00 ~ 12 : 00	外 来	13 : 30 ~ 16 : 00	在宅往診、訪問看護、検診など
			16 : 30 ~ 18 : 00	外 来
金	8 : 00 ~ 12 : 00	外 来	13 : 30 ~ 16 : 00	川原出張診療、在宅往診
			16 : 30 ~ 18 : 00	外 来

4 実習のスケジュール

主に外来患者の診療に付いて研修してもらいます。時間があれば農場見学やエネルギー問題、環境問題についても質疑応答したいと思っています。

昼食後は在宅診療に同行してもらいます。できれば、私と一緒に自転車で移動しましょう。

5 診療所長からのメッセージ

診療が忙しい時には十分な対応ができないこともありますので、学生さんの方から気軽に質問して下さい。五島の診療所実習では、地域の人々との強い信頼関係と互いに尊敬する人間関係の中で、general physician の楽しさと生き甲斐を知って欲しいと思います。

また、私個人としては、石油文明は袋小路であると結論しており、石油に依存しない伝統的な技術の継承を人生の目標にしています。また、生物の多様性維持に貢献したいという思いから、絶滅の危機に瀕している生物を何とか次の世代に残せないかと対州馬の繁殖と日本ミツバチ(和蜂)の養蜂などに取り組んでいます。

日本ミツバチは、かつては上五島の岩場などに棲息していたとされ、下五島でも明治時代に日本ミツバチの養蜂を行っていたことを示す資料があります。しかし現在はいなくなっていました。日本ミツバチは、西洋ミツバチに比べおとなしく、びわやかぼちゃの受粉などに非常に役立ってくれます。蜜は高値で取引され、薬として用いられるとも聞きます。

対州馬は西日本の気候に順応した馬で、木曾馬に比べやや小型ですが粗食に耐え、力が強い反面、穏やかな性格で女性や子供でも扱えるといった利点があります。以前は農耕や運搬などの使役馬として盛んに利用されていましたが、機械化が進む中で需要がなくなり、明治17年に4,150頭いた対州馬も今では27頭にまで激減してしまいました。診療所から少し離れたところで実際に田畑を作っているのですが、耕す際には対州馬や牛を使います。機械を使って耕すよりも達成感があり、身体も動かすので健康にも良いのではと考えています。

人間は生物の王様ではなく他の植物や動物に生かされているということを、ここでの生活は教えてくれます。今回の実習の機会に、こうした問題を考えるきっかけになればと願っています。